

## 平成 31 年度入学式式辞

生きるものすべてに生命の息吹がみなぎる希望の季節を迎え、平成が終わり、令和へと移り変わる新たな時代の幕開けとなるこの年に、平成 31 年度島根県立邇摩高等学校の入学式を挙げてまいすことは、誠に喜びに堪えないところでございます。ただいま入学を許可しました新入生 81 名の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さんの本校への入学を私たち教職員一同、そして在校生とともに心から歓迎いたします。

また本日は、校務ご多忙の中、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り厚く御礼申し上げますとともに、日頃から本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて本年度の入学式は 116 回目の入学式です。1903 年（明治 36 年）に創立した伝統ある邇摩高校生としての第一歩が今日から始まります。本日の入学生 81 名はこれまでの入学生とは違った入学生となります。それは 2022 年に施行される「18 歳成人」に皆さんがすぐに関わるということです。皆さんがこの学校で学び 2022 年 3 月に卒業式を迎えます。その卒業した年の 4 月 1 日に、成年年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられます。明治時代から約 140 年間、日本での成年年齢は 20 歳と民法で定められていました。この民法が改正されて 2022 年 4 月に 18 歳の人には新成人となるわけです。これは私も含めて、ここにいる誰もが経験したことがないことです。18 歳で大人として扱われ、親の同意なしで商品契約ができ、ローンを組むことができ、結婚ができ、少年法の見直しが今行われています。

「18 歳成人」の影響をまさに受ける皆さんに対し、私たち教職員や学校はこの 3 年間で皆さんを大人に育てる最終的な使命があります。高校を卒業しても今までは未成年。つまり子どもだからと大目に見られていた部分が許されなくなってきました。同時に何をすることも「自己責任」ということになるのでしょうか。こうなってくると高校での授業や社会の仕組みや働くこと、社会人としての基礎知識やマナーなどをきちんと身につけさせ、本当に社会人・職業人として自立できる人材を育てていくことが私たちには必要ですし、そんな人材として成長していくことが皆さんには必要です。

幸い、邇摩高校には様々な経験を積む場面があります。学校で基礎的な知識や技能を確実に身につけ、その知識や技能を実際に使ってみる。実際に社会や地域を学ぶなど、皆さんはこれから様々なことを経験し学ぶ機会が本校には準備されています。成年年齢が 18 歳に引き下げられたとしても、立派な大人として社会やこの地域を支えていけるような教育システムが本校にはあります。皆さんはこれから多くの壁にぶち当たり、それを乗り越えながら成長していくはずですが、困難を乗り越えながら、しっかりと社会で通用する力を身につけてください。社会で生き抜くための能力を備えてください。大きな力をつけようと思えば、失敗も当然あります。しかし、その失敗を恐れず挑戦し続けてください。挑戦して失敗することに対しては拍手を送ることができる。そんな学校でありたいと思っていますし、私たち教職員は皆さんの可能性を広げ、大人としての資質を身につけるために全力で応援していきたいと思っています。

最後に、保護者の皆様にお願ひです。子どもさんの成長のためには保護者の皆様と学校が連携しながら協力し、それぞれが学校と家庭の役割を果たしていくことが大切になります。保護者の皆様には本校教育へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新入生の皆さんが本校で輝き、自信を持って日々の活動を実践してくれることを願って式辞といたします。

平成 31 年 4 月 9 日

島根県立邇摩高等学校 校長 吉川 靖